

# 新たな計画全戸スタートへ

復興庁は14日、東京電力福島第一原発事故の避難者向けの復興公営住宅などを建設するため、「コミュニケーション」復活交付金(長期避難者生活拠点形成交付金)の8回目の交付額を発表した。交付額は計60億3100万円(交付額ベース)で、新たに545戸分を配分、県が計画する4890戸全戸がスタートすることになる。

交付対象や金額は【表】の通り。復興公営住宅整備事業には、このうち57億7

00万円を充てる。新規配分の内訳は福島市130



4年ぶりに干し場によみがえった黄金色のあんぼ柿のカーテン＝国見町の高橋さん方

## 黄金の

で薫蒸した黄金色の柿がカーテンの美しい光景がよみ今季は伊達、桑折町の一部地域に設定工再開モデル地区

郡山市で14日、同事業についての説明会が開かれ、担当者が会員企業らに今後の計画を説明。放射性物質吸着除染材料の技術開発に

関係する講演会なども開かれた。

## 路面洗浄の効果 本宮で実証実験

日大工学部と創生



路面を高圧洗浄する新システムのの実証実験

支援センターなどは14日、本宮市で、道路の路面除染

を行う「路面洗浄システム」の実証実験を行った。実験結果を基に、各地での除染に反映させる。

システムは、円盤形の路面洗浄装置を使用し路面を高圧洗浄し、汚泥回収後の処理を安全でスピーディーに行う。同センターによると、施工可能面積は1日平均約2千平方メートル、最大約3千平方メートルまで可能という。開発には、民間企業などをつくる「福島未来国際プロジェクト」が参加している。

日大工学部が本宮市と結ぶ包括連携協定に基づき行われ、関係者が道路の側溝にたまった汚染土壌を専用機械で洗浄するなど、一連の作業を確認した。

ならず」の例ですね。

「福島の人たちにもっと、他人に優しく、あったかい県民性を持っています。震災、原発事故で被災し、何十%も

割いて誰かのために生きるなんていう余裕はないかもしれませんが、震災、原発事故から3年半以上経過した今も、厳しい状況はあると思います。

それでも『被災したからもう自分のことしか考えられない』と言っているのではない、優しい県民性を保ってほしい」

「誰かのために、県内もっと大変な人たちのために、と考えて行動すれば、その人自身も救われていくのではな

島の人たちも『1%だけ誰かのために』と、みんなが考え

て行動すれば、もっと元気が出てくるのだと思います」

近著「1%の力」には「優しくなくちゃ人間じゃない。楽しくなくちゃ人生じゃない」という言葉があります。

「人間は基本的に利己的な生き物だけど、誰かを考える優しさがある人の方が結果的に幸せで健康で長生きができます。人は結局、楽しむために生まれてきたのだと思いま

す。震災、原発事故でつらい目に遭った福島の人たちが『それでも俺たちは乗り越え

明らかに。請求するのは昨年度の原発事故対策の全事業費のうち、特別から財政た経費と資産税減について

南相馬市議選立候補者

## 髪にはやっぱり加美乃素

### トライしなければ始まらない育毛ケア 薄毛に挑戦する薬用育毛剤

頭皮の血行を促し、頭皮・毛根機能を高める生薬(苦参)、薬用植物(延命草)成分を中心とする8種の薬用有効成分の働きでフケ、カユミや異常な抜け毛を防ぎ、太く、しっかりとした健康な髪の生育と育毛を促します。

## 薬・薬用植物成分が

効く!!